

佐潟公園内自然生態観察園の活用方法について

1 概要

佐潟公園内にある自然生態観察園を積極的に活用し、豊かな生態系を創出するとともに、希少動植物などが生息・生育できる環境の復元に取り組む。

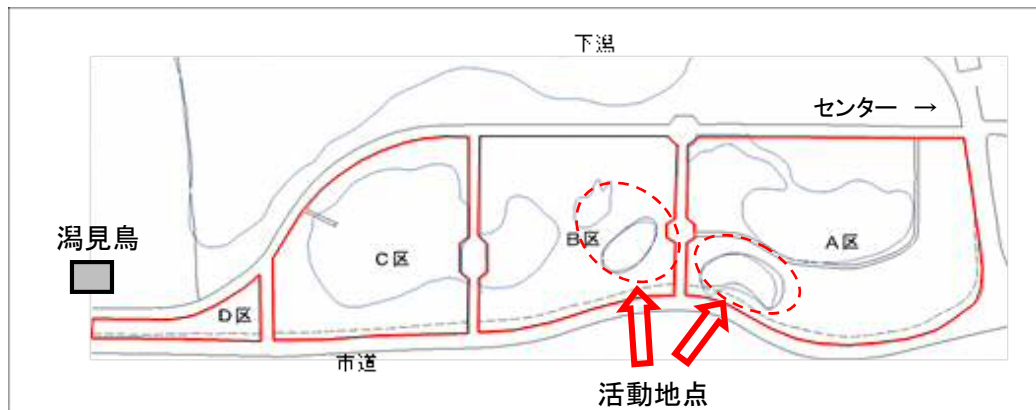


図. 自然生態観察園の活動場所

2 平成 30 年度活動実績

平成 30 年度に入ってから以下の作業を行った。

(1) 土止め板の設置

○平成 30 年 3 月に浚渫土壌を搬入したことともない、浚渫土壌が流出しないように、平成 30 年 4 月 19, 20 日に土止め板を設置した。設置方法は、杭を打ち、その杭に板を固定する方法とした。

(2) ヨシ刈りの実施

○平成 30 年 5 月 18 日、および 6 月 11 日に池周辺で成長しているヨシ刈りを実施した。ヨシ刈りはオオヨシキリの営巣が始まる前に一度刈り取るなど考慮しながら実施した。

(3) 生きもの調査

○平成 30 年 4 月以降、池にどのような生き物が生息しているかを定期的に調査し、外来種を捕獲した際には駆除を行った。

【動物相調査】ウシガエル、アメリカザリガニ、メダカ、ヨシノボリ、マツモムシ、ミズスマシ、アメンボ、ミズムシ

(A 区のみ) ヨコエビ、(B 区のみ) アズマヒキガエル、サカマキガイ

(4) 希少植物の移植

○平成 30 年 5 月以降、ミズアオイやデンジソウ、ヤナギトラノオなど希少植物を適宜移植し、生育状況を観察した。

(5) 活動内容を周知する看板の設置

○池周辺には活動内容や整備後の将来像などを説明した看板を平成 30 年 4 月に再設置した。看板は合計 3 枚設置した。

(6) 水位計の設置

○平成 30 年 6 月には整備している両方の池に水位計を設置した。水位計を活用し、作業時

とあわせて水位の計測を行う。

(7) 水質調査の実施

○平成30年6月1日に池2カ所で水質調査を実施した。

3 今後の活動内容(案)

(1) 潟普請事業との連携

○池内の泥上げ、外来種駆除などをお願いする。

(2) 希少植物の生育状況調査

○これまでに移植したミズアオイ等の希少植物等の生育状況を調べるとともに、浚渫土壌から発芽した植物なども観察する。

(3) 水質調査の実施

○池の水質に関する詳細な記録がないため、6月に実施した水質調査を継続して実施し現状を把握する。

- ・平成30年8月、10月、平成31年2月の3回実施
- ・水質調査の項目：全9項目

pH、溶存酸素量、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量(COD)、溶解性化学的酸素要求量、懸濁物質、クロロフィル a、全窒素、全リン

- ・調査地点：整備を行っている池2カ所
- ・調査協力：新潟市衛生環境研究所



A区



B区



看板



希少植物



ウシガエル幼体